

第7回八大学工学系連合会公開シンポジウム ～輝く女性と博士を社会に～

女子中高生と保護者に向けた 工学のキャリアパスの見える化

多様性
Diversity

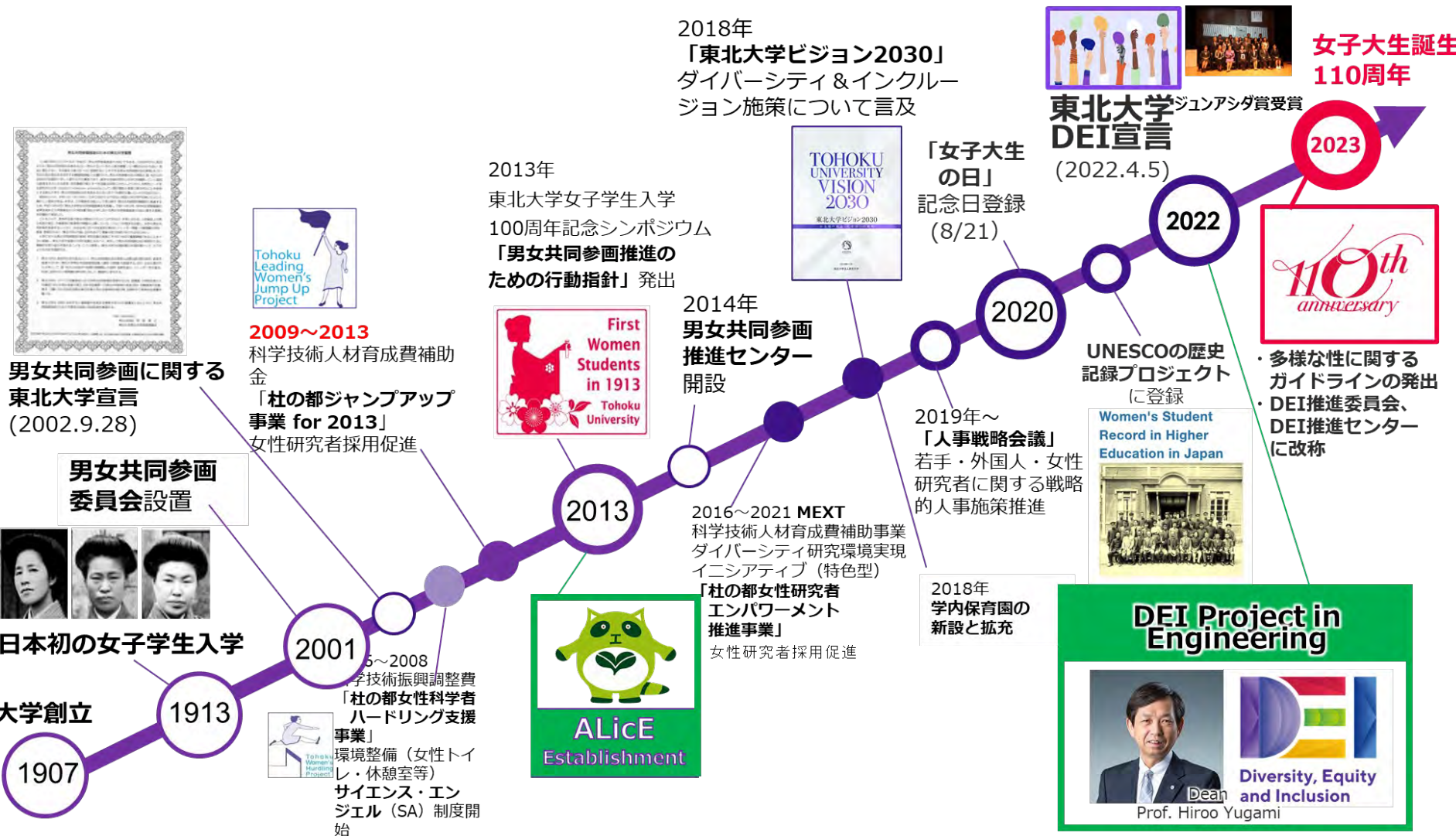
公平性
Equity

包摂性
Inclusion

北川尚美

大学院工学研究科 教授(研究科長補佐DEI担当)

東北大学ダイバーシティ推進の歴史



皆が輝ける大学を目指して宣言発出



東北大学はDEI推進宣言を発出(2022.4)

Diversity(多様性)+Equity(公正性)+Inclusion(包摂性)

※Equityを導入したのは日本の大学初



▲個人の違いは視野に入らず、全員に「平等」なものが提供されている

Equality



▲個人の違いを考慮しそれぞれに「公平」な機会が提供されている

Equity



▲構造的なバリアが取り除かれ、全員が平等かつ公平な機会を保持している

<https://www2.deloitte.com/jp/ja/blog/group-diversity/2021/diversity-equity-and-inclusion.html>

東北大学におけるダイバーシティ推進ポリシー<https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

DEI推進のための環境調査と整備①

《環境整備》 2024年9月5日調査結果

〈種別毎〉

身障者用トイレ	192
バリアフリートイレ	4
だれでもトイレ	1
みんなのトイレ	1
オストメイト対応	54
フィッティングボード	29
おむつ交換台	35
ベビーチェア(キープ用)	12



〈キャンパス毎〉

片平	37,	星陵	49
川内北	19,	川内南	19
青葉山東	32,	青葉山北	30
青葉山新キャンパス			16

〈DEIあんしんPROJECT 「誰もが快適な生理を」

(川内北キャンパスで2024年5-6月
実施, アンケート結果を報告)



〈その他〉

- ・学内保育園の整備
(国立大学で最大規模)
- ・男性職員向け育児支援制度
(2022年度男性職員の取得率53%)
- ・子の出張帯同費用等支出制度

DEI推進のための環境調査と整備②



《DEI Loungeの新設“知る,交わる,広がる”》

ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場。DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用・参加可能。学生スタッフと協力して企画運営。センターの企画イベントを月1回実施。

時間:毎週水曜日 13:00~17:00

場所:国際交流棟1階(川内キャンパスAエリア)

※利用時にはグランドルールの遵守が必要

2024 10/16 (WED) **OPEN!!** DEI Lounge オープニングイベント
13:00-14:00 ワークショップ 軽食付き 定員 30名(参加費別)
「話してみない?」 #ジェンダーのもやもや
中村 加南子 さん、伊藤 聖子 さん、野池 しひろ さん
13:00-17:00 国際交流棟 1階
定員 30名 締切:10月9日(日)
TEL: 022-217-6092 E-MAIL: dei-center@grp.tohoku.ac.jp

11月 DEI Lounge EVENT
2024 11/20 (WED) 15:00~
- 映画上映会 -
DEI MOVIE SCREENING
Title 「世界は僕らに気づかない」 Angry son
対象 本学の学部生、大学院生、教職員 All members
DEI Lounge 国際交流棟1階(川内キャンパスAエリア)
日本語のみ / Japanese only
TEL: 022-217-6092 E-MAIL: dei-center@grp.tohoku.ac.jp



国際交流棟



オープニングイベントの様子

参加者からのラウンジへの期待

「何気ない一言を受けとめてくれる場所になってほしい」

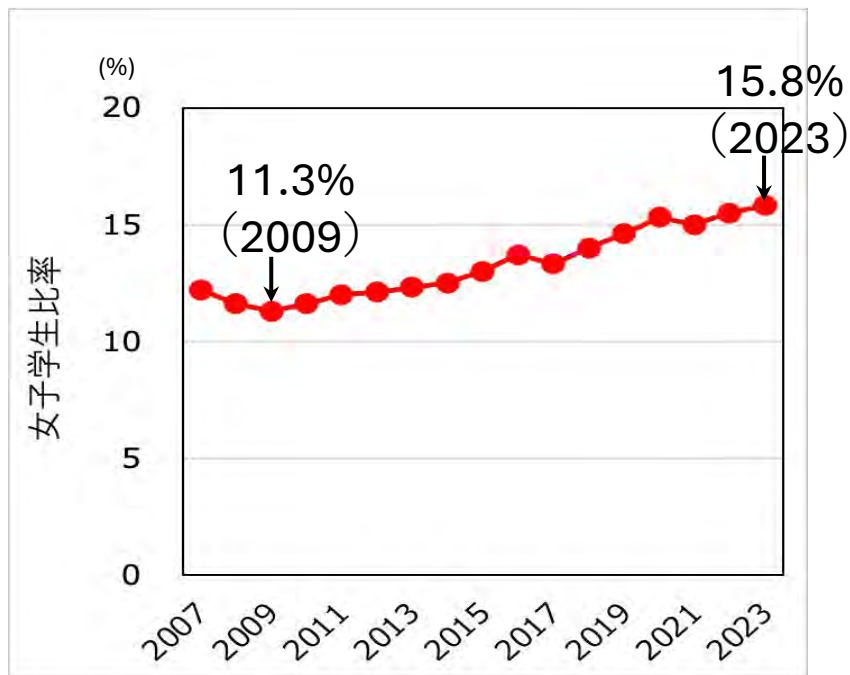
「気軽に立ち寄れて話ができる場」

参加者からの声

「DEIの実現にはマイノリティの声だけに頼るのではなく、マジョリティにDEIを勉強するチャンスを増やしていく必要がある」

国立大工学部の女子学生比率の現状

《工学部全体の平均比率変化》



出典：国立大学協会「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第20回追跡調査報告書」

国立大工学部全体：14年間で15.8%

**八大学工学系：大半が全国平均以下
⇒ 各大学で入試への女子枠導入が検討**

《八大学工学系連合会》

旧帝大7校と東工大の工学系研究科で構成

大学	学部	学年	女性比率
東京大学	工	2-4年生	12.4%
京都大学	工	1-4年生	10.4%
大阪大学	工	1-4年生	14.1%
	基礎工		10.3%
名古屋大学	工	1-4年生	11.7%
九州大学	工	1-4年生	11.2%
	芸工		39.7%
北海道大学	工	2-4年生	13.8%
東京工業大学	工	1-4年生	8.0%
	物質理工		13.9%
	情報理工		7.4%
	生命理工		22.6%
	環境・社会理工		27.6%
東北大学	工	1-4年生	12.6%
国立大学 (全国平均) (2023)	工	4年生	15.8%

注1) 各大学2024年5月1日時点、東京工業大学は2023年5月1日時点

注2) 全国平均を上回る学部にマーカー

出典：公開データに基づき本学で作成

組織の意識改革・組織変革の重要性

無意識のバイアスの発見と科学技術政策の流れ（米国）



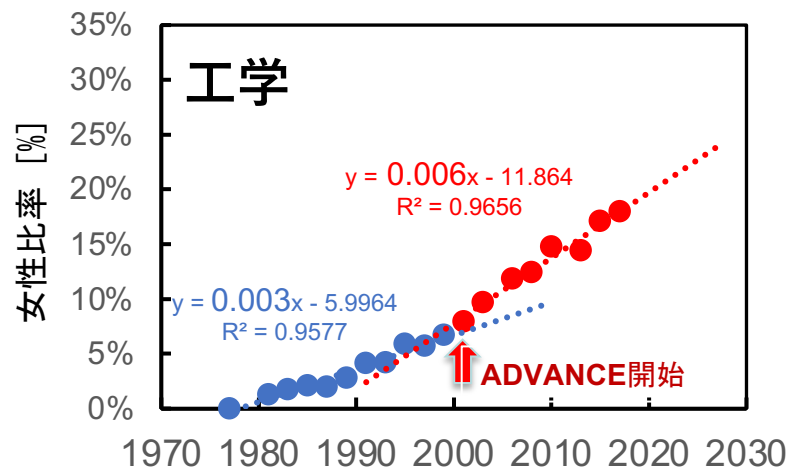
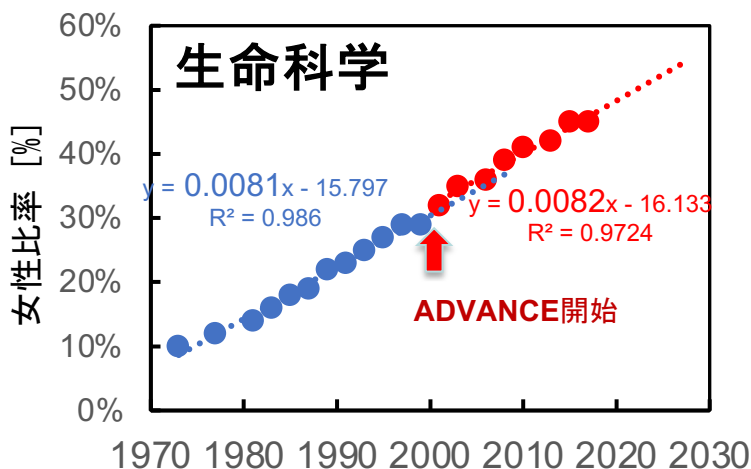
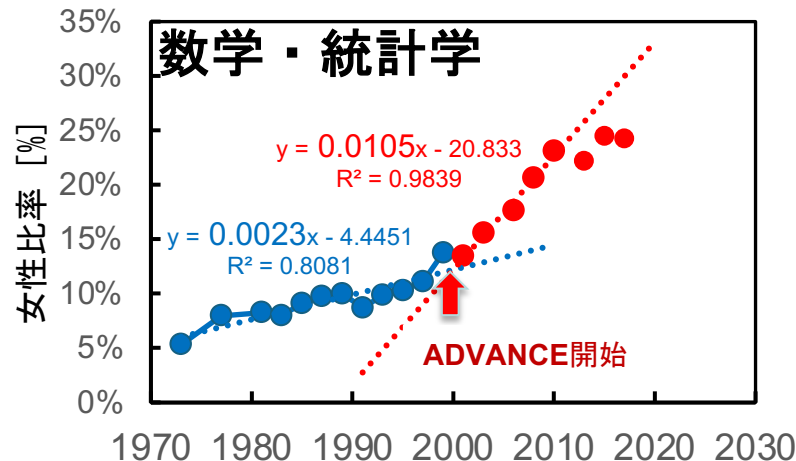
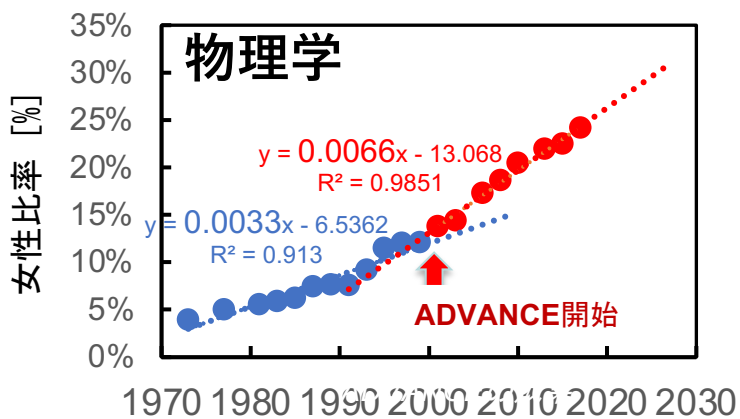
- ❑ アカデミアには色々な歪みがある
- ❑ 見えるバイアスと見えないバイアスがある
- ❑ 研究と家庭の両立は依然として困難である
- ❑ 女性がリーダーになること、上位職につくことに自信を持ってない現状がある...

無意識のバイアス
-Unconscious Bias-の
認知と克服

From ADVANCE Brochure; <http://www.nsf.gov/pubs/2009/nsf0941/nsf0941.pdf>

女性研究者比率増加への大きな影響

理工系4分野における NSF ADVANCE の成果 (NSF)

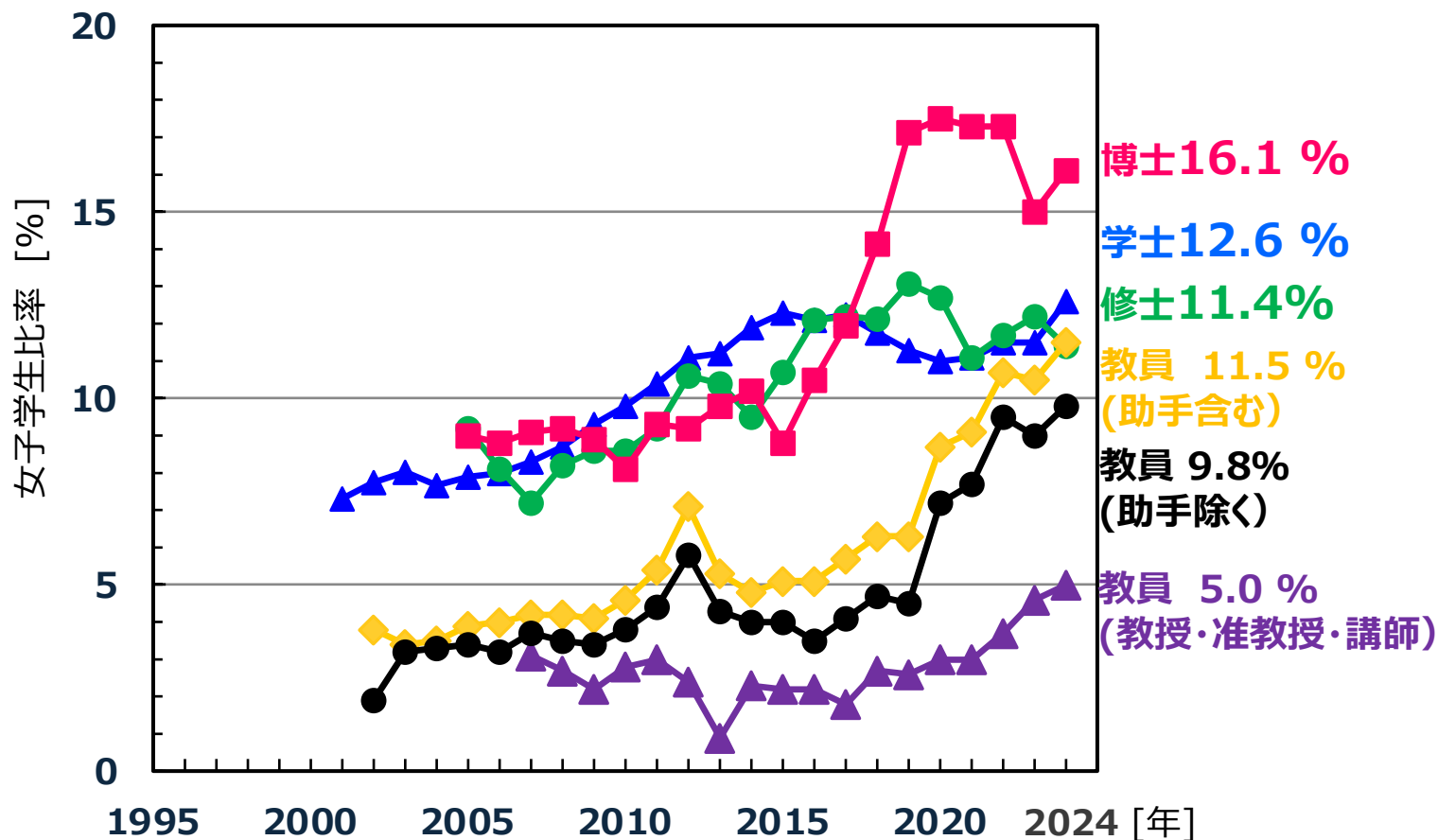


女性研究者比率の増加率を著しく増大

出所：Table S3-14 from Science & Engineering Indicators, NSB-2019-8, <https://www.nsf.gov/statistics/seind/>

本研究科における女性比率の推移

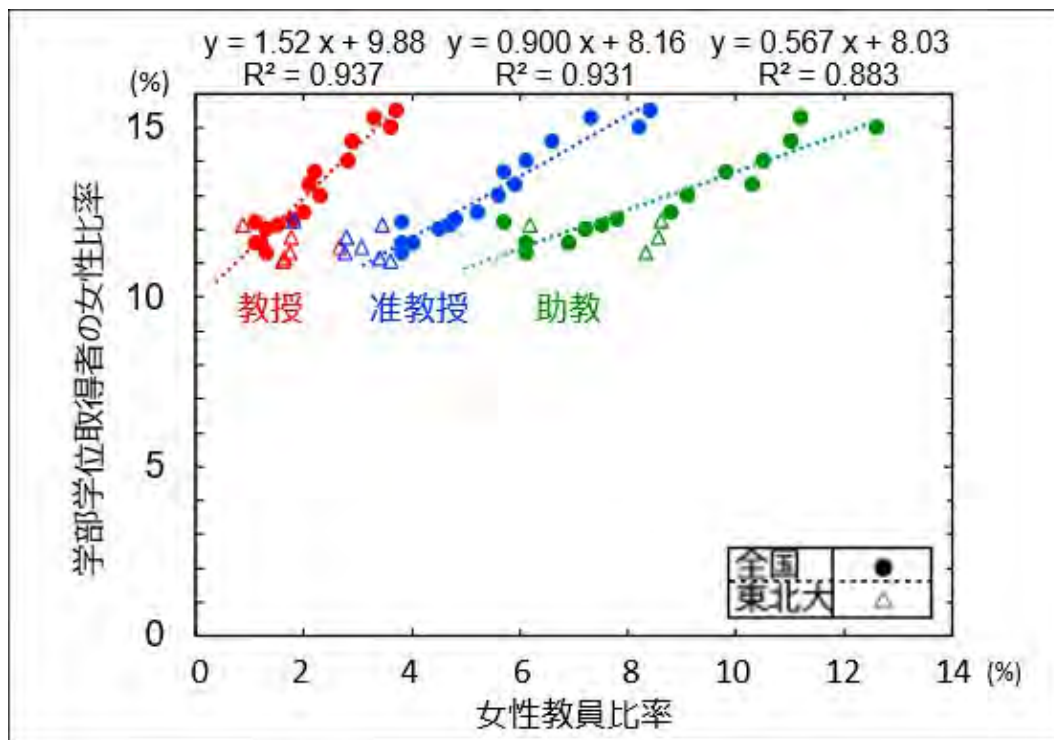
- ・学士と修士の女子学生比率はほぼ変わらず
- ・博士の比率は大きく増加、それに応じて助教の比率も増加



※クロスアポイントメント等除く

学部学生と教員の女性比率の相関

- ・いずれの職位に関しても両者の間に線形の相関関係あり
- ・上位職の女性教員の増加が学部の女子学生を増やす効果大



全国国立大学工学部の学部学位取得者の女性比率と職階別教員の女性比率の相関¹⁾

1) 渡邊, 北川, 工学教育, 72-1, 60-64 (2024)

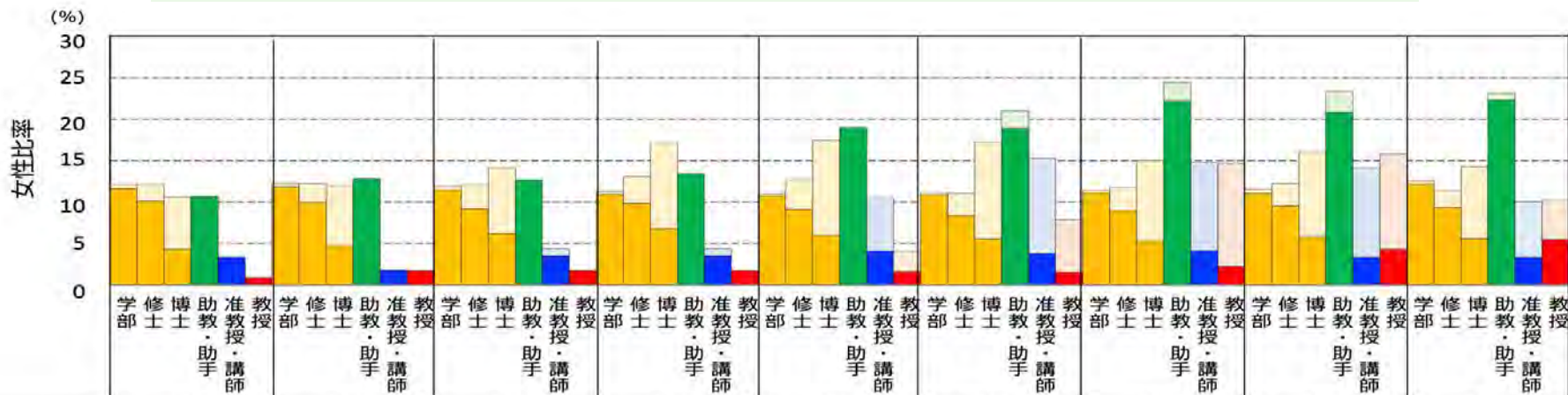
本研究科におけるDEI推進雇用

博士後期課程修了者の雇用拡大

⇒他学部や他大学の修了者も対象として多様性を促進

DEI推進公募によりR5年度4名の教授が着任

⇒学部教育や学科運営に従事する女性教員を増加



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
学部	449 (留19)	447 (留17)	416 (留10)	394 (留12)	382 (留10)	387 (留8)	398 (留11)	399 (留15)	444 (留16)
修士	185 (留31)	188 (留34)	187 (留46)	202 (留50)	196 (留55)	166 (留41)	175 (留41)	186 (留41)	172 (留31)
博士	56 (留33)	63 (留38)	73 (留41)	86 (留52)	87 (留57)	90 (留61)	79 (留51)	94 (留60)	84 (留51)
助手・助教	13	16	16	16	25	30 (ク3)	32 (ク3)	28 (ク3)	28 (ク1)
准教授・講師	4	2	5 (ク1)	5 (ク1)	13 (ク8)	20 (ク15)	18 (ク13)	17 (ク13)	12 (ク8)
教授	1	2	2	2	5 (ク3)	10 (ク8)	20 (ク17)	22 (ク16)	13 (ク6)
女性教員総数	18	20	23 (ク1)	23 (ク1)	43 (ク11)	60 (ク26)	71 (ク36)	67 (ク32)	53 (ク15)

※留:留学生と外国人学生, ク:クロスポイントメント等

各年5月1日時点, 学内データに基づき作成.

本工学部の新入生の女性比率の推移

年度	工学部 全体	機械知能・ 航空	電気情報 物理	化学・ バイオ	材料科学 総合	建築・ 社会環境
2021	13.6	8.3	10.9	26.7	9.9	20.9
2022	12.2	8.8	7.2	22.4	10.2	22.7
2023	11.9	8.9	6.9	24.1	11.1	17.4
2024	15.2	9.0	9.5	33.3	13.7	24.6
2025	13.2	10.6	6.5	22.9	11.3	26.8

《課題》

- ・女子学生用イベントのアンケート結果で、保護者や高校教員から工学部への進学を止められているとの記述多数(就職がない、結婚できない、子供を産むと仕事が続けられない、etc.)
- ・保護者から理系科目は男子学生の能力が高いから、入学してもついていけないのではとの不安の相談多数

バイアス払拭のための取り組み

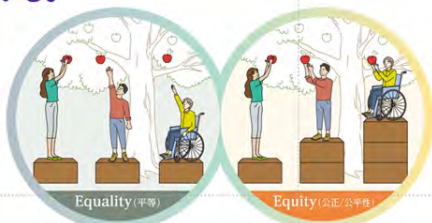
<DEI推進への理解の醸成>

新入生オリエンテーションや保護者懇談会,入学説明会などで説明

マイノリティへの支援の重要性・正当性



学びや職場の環境で、性別・国籍などを理由にマイノリティとなる場合がある。多数の中の少数であることは時に弱者となり、能力を十分に発揮できないこともある。理工系では女性が、看護や保育系では男性がマイノリティ。マイノリティに対して支援することは、国連や法律で定められている。



黄金の三
ロザベス・モ
ー教授(ハー
vard大学社会学)



東北大学工学研究科
DEI推進プロジェクト

工学部における
DEI (Diversity, Equity & Inclusion)
推進の取り組み

相談窓口



学生生活での不安なこと、疑問・質問など、東北大学工学研究科DEI推進プロジェクト室に相談ください。

東北大学工学研究科DEI推進プロジェクト室

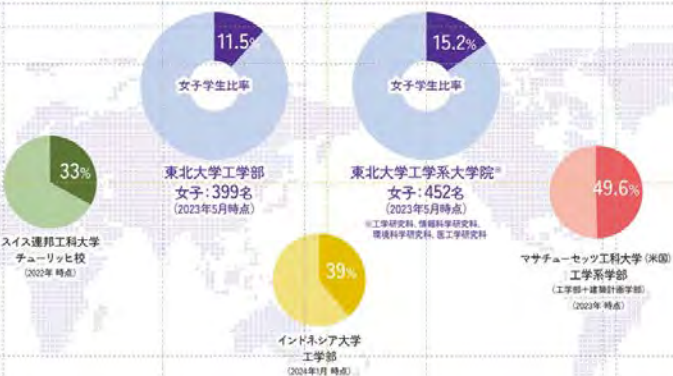
E-mail: eng_chi@pr.tohoku.ac.jp
TEL: 022-795-5678



そのほか、各学科の女性教員にも相談可能です。

まひ)教授	工工学専攻	E-mail	maimi.tanaka.e6@tohoku.ac.jp
どかり)教授	応用物理学専攻	E-mail	madoka.oro.d7@tohoku.ac.jp
ななみ)教授	化学工学専攻	E-mail	naomi.kitakawa.d3@tohoku.ac.jp
ト)Nan)教授	材料システム工学専攻	E-mail	chao-ran.xu.d5@tohoku.ac.jp
けい)教授	土木工学専攻	E-mail	keiko.udo.ct@tohoku.ac.jp

工学部女子学生比率の国際比較



女子学生向けの年間イベントと支援



現状ではマイノリティの女子学生が、学生生活や将来のキャリア選択を安心して行えるように、様々な支援を行っています。



年間イベント

4月	5月	7月	8月
新入生オリエンテーション 新入女子学生(1年生)交流会 女子学生昼食時交流会 (6/26, 学内開催)	中高生・保護者向け 「リクジョ」会議No.1 サポート学生募集	中高生・保護者向け 「オープンキャンパス」フォーラム工学部 in 東京 サポート学生募集	中高生・保護者向け 「リクジョ」会議No.2 サポート学生募集
6月	10月	11月	3月
中高生・保護者向け 「リクジョ」会議No.3 サポート学生募集	女子学生昼食時交流会 (6/26, 学内開催)	中高生・保護者向け 「リクジョ」会議No.4 サポート学生募集	中高生・保護者向け 「東北大学工学部 in 東京」 サポート学生募集

女子学生向け支援

- 国内外の学会参加費、論文採稿費などの支援
- 夜間タクシー利用補助
- 各学科に静養室設置

《対策》

- ・女子高校生と保護者に対し、工学部のキャリアパスを見える化するため、企業の人事と卒業生によるポスター展示
- ・企業の方、教員、学生による相談コーナーを設置



各学科の教員による
講義もしてます！

キャリアパスの共有:オンラインリケジヨ会議

《対策》

- ・年3回オンライン実施、保護者や教員の参加を勧誘
- ・企業OG,教員,大学院生とのゆる〜い懇談会



リケジヨ会議 2025
初のオフライン開催!
東京 一橋講堂

2025年 3月28日(金) 18:00~20:00 (欠達室自由)
東京一橋講堂

【参加申込方法】
下記URLまたは、QRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/UC3eUHASJNwQyxHSA>

【お問合せ】
東北大学工学研究科DEI推進プロジェクト事務局
TEL: 022-795-5678 E-mail: eng-dei@prp.tohoku.ac.jp

テーマ: 工学リケジヨのリアルトーク (仙台おやつ付き)

対象: 女子中高生、保護者、教員 参加費: 無料

理系? 文系? 工学? 理学? 農学? 薬学? 悩んでいる人大集合! 女子ならではのテーマにみんなの知りたいこと、ご両親の知りたいことをぶつちやけトーク!
大学生、大学院生、教員、社会人、どんなことでもお答えします。

20



zoom | 完全オンライン **リケジヨ会議 2025**

Vol.01 2023年 5月29日(木) 18:00~19:30
Vol.02 2023年 8月23日(土) 18:00~19:30
Vol.03 2023年 12月16日(火) 18:00~19:30

【参加申込方法】
下記URLまたは、QRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/7c7dMziSszcLXZUP8>

【お問合せ】
東北大学工学研究科DEI推進プロジェクト事務局
TEL: 022-795-5678 E-mail: eng-dei@prp.tohoku.ac.jp



リケジヨ会議 2025
参加者の声

中学生 (茨城県)
娘が工学部でものづくりを学びたいと言いだした時は、正直不安になりました。自分自身が文系出身で、男の子ばかりのクラスじゃないかと、女性として就職が不利なのでは? などネガティブなことばかり考えてしまいましたが、リケジヨ会議に参加して、教員、学生、働くリケジヨの皆さんからお話を聞くとお仕事や勉強に打ち込まれている様子を知ることができました。

理系の女子大学生 (冬城様)
学生はどのような生活をしているのか、のみを知りたくて参加したのですが、参加してみて、今までは興味もなかった東北大学の魅力を知れて、今では行ってみたい大学の候補で、リケジヨに参加してお話を聞けてよかったです!

女子学生の声
生の声を聞くことができとても参加になりました。また、今後の勉強へのモチベーションにもなりました。

高校生 (山形県)

保護者

中学生 (北海道)
学校の課題研究の調査の一環として参加させていただきました! みなさんともフレンドリーで相談もしやすかったです。理系女子としての悩みや不安も、先輩方の話を聞いて少し和らぎました!

モリスト

教員
SSH (スーパーサイエンスハイスクール)で教員をしています。科学に興味を持った生徒たちをどのような道路に導くかを検討しているときにリケジヨ会議のことを知り、できる限り参加するようにしています。実際にサイエンスを仕事にしている方や、最新の研究のことを聞くワクワクしますし、未来の可能性が果てなく広がっていることを生徒たちに伝えられるようになりました。

高校生 (秋田県)
参加されている先輩の優秀さ、意欲の高さに本当に感激しました。

保護者 (千葉県)
理系大学の現役の教授の方や、生徒さんと直接お話できてとても参考になりました。

女子学生に向けた継続的な支援活動

現状ではマイノリティの女子学生が、学生生活や将来のキャリア選択を安心して行えるように、様々な支援を行っています。

年間イベント

4月

新入生オリエンテーション
新入女子学生(1年生)交流会
女子学生昼食時交流会(1週間、学年問わず)



新入生女子歓迎会

5月

中高生・保護者向け
「リケジョ会議No.1」
サポート学生募集

7月

中高生(保護者含む)向け
「オープンキャンパスミニフォーラム工学にける私の夢」
サポート学生募集



オープンキャンパス

8月

中高生・保護者向け
「リケジョ会議No.2」
サポート学生募集



女性静養室
(各学科に設置)

10月

女子学生昼食時交流会
(1週間、学年問わず)



11月

中高生・保護者向け
「リケジョ会議No.3」
サポート学生募集



リケジョ会議

3月

中高生・保護者向け
「東北大学工学部 in 東京」
サポート学生募集



東北大学工学部 in 東京

女子学生向け支援

- 国内外の学会参加費、論文投稿費などの支援
- 夜間タクシー利用補助
- 各学科に静養室設置



フィッティングボード
(12か所)



個人用小物入れ
(化学・バイオ系)

1. 大学教職員のバイアスを払拭すること
2. 女子学生とその周辺の人々(保護者や教員など)のバイアスを払拭すること
3. 女子学生が孤立せずに大学生活を送れる環境を整えること
4. 女子学生がライフイベントに左右されずに自由にキャリアを選択できる環境を整えること

工学研究科DEI推進プロジェクト ロゴについて

イニシャル「DEI」をモチーフに、東北大学を象徴する「紫」と工学部5つの学科を象徴するカラーを用いて多様性を表現。東北大学カラーの「D」の支援により、「E」=人が同じスタートライン=「I」に立ち、推進していく姿=「Equity」を表現。



工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE) キャラクター

「ずんだぬき」

青葉山に生息するずんだ(枝豆)色のだぬき。お口は工学部の『工』おなかの模様は東北大学のロゴにも使われている『萩』。

工学や科学技術に興味津々にぬ!



ずんだぬきの部屋





TOHOKU
UNIVERSITY

<https://dei.eng.tohoku.ac.jp/>

